
真実を知ってください
薬物
薬物によって、
毎年何百万もの人々の
人生が破壊されています。
薬物について、あなたは何を
知っておくべきなのでしょうか?
エクスタシー
LSD
スピード
コカイン
マリファナ
jp.drugfreeworld.org



# この小冊子が制作された理由

薬物についてのさまざまな情報が氾濫しています。学校や街中、インターネットやテレビで。その中には正しい情報もありますが、そうでないものもあります。

薬物に関して耳にするほとんどのことが、実は売人からのものなのです。かつての売人たち曰く、「買わせるためならどんなでたらめでも言う。」

薬物についての実態と真実を知ればまともな決断を下すことができます。この小冊子は、そのために制作されたものです。あなたのために。

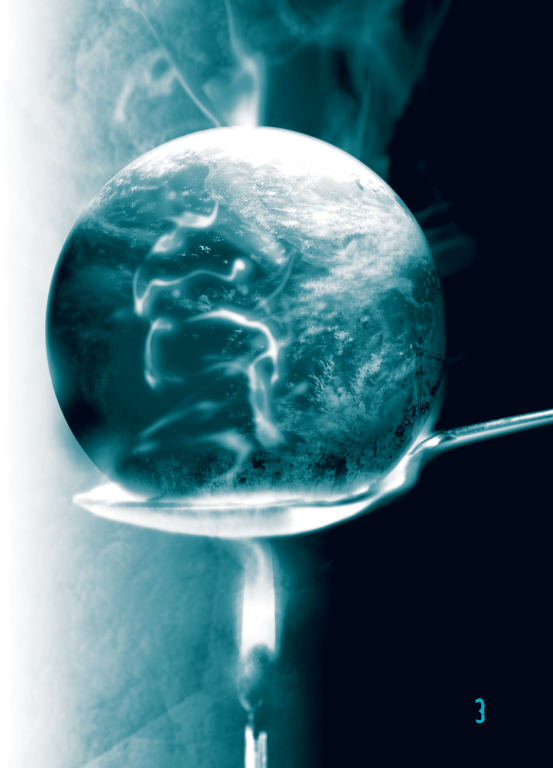
あなたのご意見、ご感想は貴重です。ですからこの小冊子について感じたことをお知らせください。**jp.DrugFreeWorld.org** にアクセス、または **info@drugfreeworld.org** までEメールでご連絡ください。

# 私たちの薬物文化

20世紀の中頃から、薬物は私たちの文化の一部となっています。それらは1960年代に音楽やマスメディアを通じて人気を博し、社会の多くの部分に広がりました。

世界中でおよそ2億9600万人が違法薬物を使用しています。米国では、全国調査の結果、調査の前年に6,100万人のアメリカ人（12歳以上の人口の22パーセント）が違法薬物を使用していたことが分かりました。

おそらく、あなたも薬物から直接、または間接的に影響を受けたことがある人を知っていることでしょう。



米国で最も一般的に乱用されているのはアルコールです。交通事故で死亡した約3,000人の十代の若者のうち、約5人に1人が飲酒していました。

最もよく使われている薬物のもう1つはマリファナです。国連の世界薬物報告書によると、15歳から64歳の世界人口の約4パーセントがマリファナを乱用しています。

今日、若者はかつてないほど早い時期に薬物にさらされています。「モニタリング・ザ・フューチャー」の調査によると、全国の高校3年生の約62パーセントがアルコールを飲んだことがあり、38パーセントがマリファナを吸ったことがあると示しています。

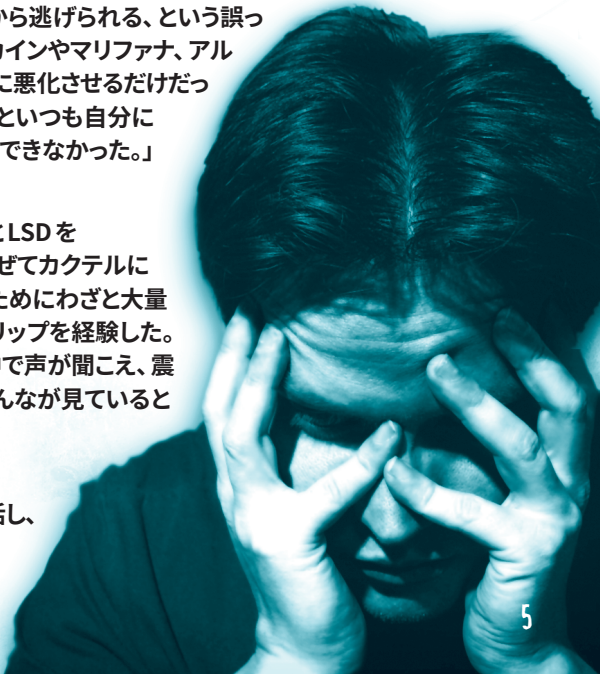
ヨーロッパでは、15歳と16歳を対象にした最近の調査で、平均16パーセントが少なくとも1度はマリファナを使用したことがあり、7パーセント以上が過去1ヵ月以内に使用したことがあることが分かりました。最も高い割合を示したのはチェコの十代の若者で（29パーセント）、次いでイタリア（28パーセント）、ラトビア（27パーセント）でした。



「生きることじゃなく、ドラッグでハイになることが人生の目的になっていた。ドラッグがあれば問題から逃げられる、という誤った考えを持っていたので、何年もコカインやマリファナ、アルコールに走っていた。だけど、それは問題をさらに悪化させるだけだった。ドラッグをやるたびに、これで最後にしようといつも自分に言い聞かせるんだけど、どうしてもやめることができなかった。」
―ジョン

「最初にマリファナ、次はエクスタシーとLSDをやった。あらゆるタイプの薬物を混ぜてカクテルにしたり、ハイな気分を長続きさせるためにわざと大量にやったりすることもあった。ある夜、バッドトリップを経験した。この感覚が消えるようにと祈り、泣いた。頭の中で声が聞こえ、震えが止まらず、6ヵ月家から出られなかった。みんなが見ていると思っていた。人目のある場所は歩けなかった。
まったく! 運転すらできなかった。

挙げ句の果てにホームレスになった。路上で生活し、段ボール箱の中で寝て、何とか食い物にありつくために物乞いをしていた。」―ベン。



# なぜ人は薬物を取るのでしょう？

人が薬物を取る理由は、自分の人生を変えたいと思うからです。

若い世代の人たちが薬物を取る理由には、以下のものがあります。

- 周りとうまくやっていきたい。
- 問題から逃避、またはリラックスするため。
- 退屈を紛らわすため。
- 大人になったような気がするから。
- 反抗するため。
- どんなものか試してみたい。

こういった若者は、薬物が問題を解決してくれると思っているのです。しかし、結局のところ薬物は問題にしかなりません。

自分の問題に直面することが困難なこともあるかもしれませんが、解決しようとしている問題よりも、薬物を使用した方が常に悪い結果を招きます。本当の解決策は、事実を認識し、最初から薬物など使用しないことです。

# 薬物はどのように作用するのでしょう？

薬物は本質的に毒です。その作用は、摂取する量によって決まります。

少し摂取すると、活動をより活発にする中枢神経刺激剤として作用します。多めに摂取すると、活動を抑制する鎮静剤として作用します。さらに多量に摂取すると毒となり命を奪います。

これはどの薬物にも当てはまります。こうした作用を引き起こすのに必要な量が違うだけです。

それだけではなく、多くの薬物には人のマインドにも影響を及ぼす危険があります。薬物を取っている人が自分の周囲で起こっていることを知覚しても、それは歪んだものになってしまう可能性があります。その結果、その人の行動は奇妙だったり、不合理であったりするかもしれません。暴力的になることもあるでしょう。

薬物は、全ての感覚を遮断します。望ましい感覚も望ましくない感覚もです。ですから、薬物は短期間の痛みの緩和をもたらすかもしれませんが、人の注意力や技能、明確に考える能力も奪ってしまいます。

薬は、体の働きを速めたり、遅くしたり、変えたりして、体がより良く機能するようにするための薬物です。薬が必要な場合もあります。しかし、薬もやはり薬物です。それらは中枢神経刺激剤や鎮静剤として作用することがあり、摂り過ぎると死に至ることもあります。指示通りに使用しないと、薬は違法薬物と同じくらい危険になる場合もあります。

# 薬物がマインドに与える影響

普通、人が何かを思い出す場合、マインドはとても機敏に働き、それはすぐにマインドに浮かんできます。しかし、薬物は記憶を曖昧にし、空白の部分を生み出します。このようにぼやけて混乱している部分から情報を得ようとしても何も得ることはできません。薬物のせいで、人は自分が鈍く、愚かになったように感じ、普段の生活で失敗を犯すようになります。人生がより困難になり、失敗をより多く経験すると、問題に対処するために、より多くの薬物を求めるようになります。

**薬物は創造性を破壊する**

薬物について語られているうそには、薬物が人をより創造的にするのに役立つというものがあります。実際には、真実はその逆です。

薬物を使うことで創造的なアイデアが得られると考える人もいるかもしれません。しかし、薬物はそのようには作用しません。薬物は、人に創造的な自由の錯覚を与えるかもしれませんが、薬物が切れると、その人はどん底に落ちます。そして、薬物を取るたびにその後の気分的な落ち込みはさらにひどくなっていきます。最終的に、薬物によってその人の創造力は完全に破壊されてしまいます。



一般的に乱用される薬物に関する事実は、複数の情報源から得られたものです。ここでは、これらの薬物が何であるか、そしてそれらが何をするのかについての真実をお伝えします。


- マリファナ ..... 10ページ
- アルコール乱用 ..... 12ページ
- フェンタニル ..... 14ページ
- 危険ドラッグ ..... 16ページ
- エクスタシー ..... 18ページ
- コカイン＆クラック･コカイン ..... 20ページ
- 覚せい剤 ..... 22ページ
- 有機溶剤/吸引ガス ..... 24ページ
- ヘロイン ..... 26ページ
- LSD ..... 28ページ
- 処方薬乱用 ..... 30ページ

# マリファナ

マリファナは、ジョイントと呼ばれるタバコに巻かれることがよくあります。またお茶にしたり、ソーダや食べ物に混ぜたり、「ボング」と呼ばれる水パイプで喫煙する場合もあります。ブラウニー、クッキー、キャンディーは、一般的なマリファナ入りの食べ物です。多くの食用品は、子供たちが知っている普通のキャンディーやスナックのように見えるため、無害であるという印象を与えることがあります。

## 通称:

- つぼみ
- ダガ
- ドープ
- 420
- ガンジャ
- グラス
- ハーブ
- ホーム・グロウン
- J
- メリージェーン
- ポット
- リーフ
- スカンク
- トゥリーズ
- ハッパ

マリファナは、最も乱用されている薬物の1つです。今日では、以前よりも強力なことがよくあります。新しい栽培技術と選択的な品種改良によって、酩酊を引き起こす主成分であるTHC*の含有量がはるかに高い品種が生み出されています。そのため、若い使用者の間で、マリファナに関連する救急外来の受診が急増しています。

世界保健機関によると、世界中で毎年2億人がマリファナを使用しています。米国では、マリファナはアルコールに次いで最も一般的に使用されている向精神薬(精神状態に影響を与える薬)で、1年間に約1,200万人の若者がマリファナを使用していると報告しています。マリファナに関する最新の科学と、それに関する神話の間には大きな違いがあります。多

*THC:カンナビスに含まれる化学物質で、精神に作用する効果をもたらす

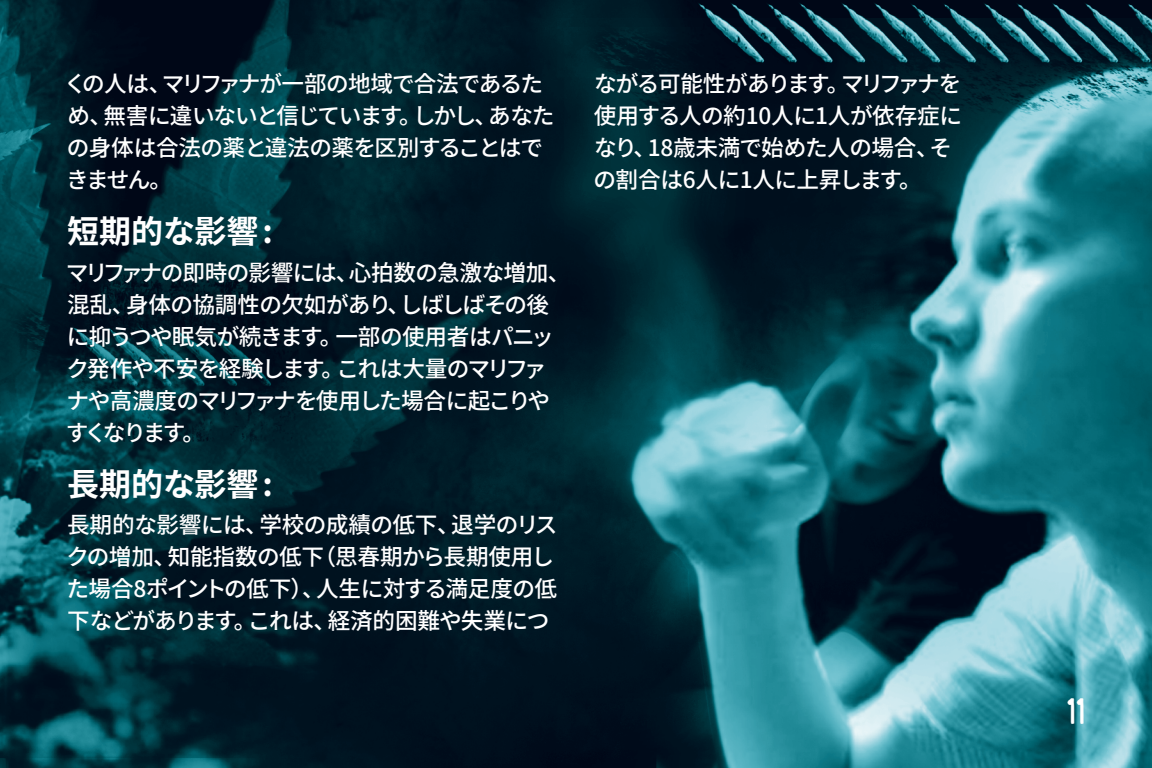
くの人は、マリファナが一部の地域で合法であるため、無害に違いないと信じています。しかし、あなたの身体は合法の薬と違法の薬を区別することはできません。

## 短期的な影響：

マリファナの即時の影響には、心拍数の急激な増加、混乱、身体の協調性の欠如があり、しばしばその後に抑うつや眠気が続きます。一部の使用者はパニック発作や不安を経験します。これは大量のマリファナや高濃度のマリファナを使用した場合に起こりやすくなります。

## 長期的な影響：

長期的な影響には、学校の成績の低下、退学のリスクの増加、知能指数の低下（思春期から長期使用した場合8ポイントの低下）、人生に対する満足度の低下などがあります。これは、経済的困難や失業につながる可能性があります。マリファナを使用する人の約10人に1人が依存症になり、18歳未満で始めた人の場合、その割合は6人に1人に上昇します。



# アルコール乱用

通称:

- ブーズ
- ブリュー
- ブリュースキ
- ハードスタッフ
- フーチ
- ジュース
- ソース



アルコールは中枢神経系の働きを弱め、自制心を低下させ、また判断力を鈍らせます。大量に飲むと、昏睡状態に陥ったり、アルコール中毒で死に至ることさえあります。アルコールに医薬品やストリート・ドラッグを混ぜることは非常に危険な行為で、命に関わる場合もあります。

アルコールは体のあらゆる器官に影響を及ぼし、筋肉の調整機能が失われる、反射能力が鈍くなる、視覚がゆがむ、記憶が途切れる、気を失う、といった現象が起こることがあります。飲酒は、10代の人の正常な成長や発達、精神的および感情的な健康を妨げる可能性があります。1年に致命的な事故に関与した15歳から18歳のドライバーのうち、5人に1人以上が飲酒していました。

## 短期的な影響：

温まる感じ、肌が赤くなる、判断力が鈍る、筋肉の協調が失われる、不明瞭な発音、記憶力や理解力が失われる。大量に飲酒すると、しばしば「二日酔い」や吐き気、不安、脱力感、震えを経験し、時には嘔吐することもあります。

## 長期的な影響：

アルコールに対する耐性が高まると、さらに飲むようになります。これにより、肝臓の損傷、心臓病、がんのリスクの増加を含む、深刻な身体的問題が引き起こされる可能性があります。妊娠中の女性がアルコールを飲むと、心臓や脳、その他の主要な身体器官に障害を持った赤ちゃんを出産する可能性があります。子供はまた、深刻な学習障害や視聴覚の問題などを抱えて成長することもあります。



# フェンタニル

フェンタニルは非常に強力なオピオイド系の薬物で、長い間医療処置に使用されてきました。

医療用フェンタニルが横流しされ、違法に販売されることもあります。それは、皮膚に貼るパッチ、注射用の液体、またはゆっくり溶けるのど飴の形を取ることがあります。フェンタニルは、オピオイドの使用に慣れていない人にとっては、たった2ミリグラムで致命的になる可能性があります。

違法なフェンタニルは、白い粉末や、他の薬に似せた偽の錠剤の形で見つかります。フェンタニルは、ヘロイン、コカイン、メタンフェタミンなどの他の違法薬物と混ぜられることがあります。麻薬の密売人は、フェンタニルを偽の錠剤に押し固めることがよくありますが、それらのどれもが致死量のフェンタニルを含んでいる可能性があります。

## 通称:

- アパッチ
- チャイナ・ガール
- ダンス・フィーバー
- ドロップ・デッド
- フェティ
- ジャックポット
- 致死注射
- マーダー8
- ポイズン
- タンゴとキャッシュ

近年、犯罪者によって製造されたフェンタニルが市場にあふれ、毎年何万人もの人々が過剰摂取で死亡しています。

## 短期的な影響：

**使用者は鎮静、混乱、めまい、吐き気、瞳孔の縮小、嘔吐、便秘を経験します。この薬物は肺に深刻な影響を与え、呼吸を遅くします。薬物を摂取しすぎると死に至ることがあります。**

## 長期的な影響：

**フェンタニルを注射する人は、静脈の損傷や、皮膚や心臓の細菌感染症に苦しむことがあります。フェンタニルの悪用は心臓に負担をかけ、うっ血性心不全や不整脈を引き起こす可能性があります。もちろん、長期的な影響として最悪なのは、依存症と、過剰摂取による死という非常に現実的な危険性です。**

**「彼女の部屋に行き、ドアを開け、彼女を見つけました。彼女は立ってはいましたが、前かがみになり、頭をソファの肘掛に傾け、嘔吐物がありました。彼女を抱え起こしたとき、彼女の目は開いていて、彼女は死んでいるとわかりました。」**
**—母親**



# 危険ドラッグ



## 通称:

- バス・ソルト
- ブラック・マンバ
- ブリザード
- フェイク・ウィード
- K2
- Nボム
- スマイル
- スパイス

危険ドラッグは、人工の化学物質を用いて実験室で作られます。危険ドラッグの中で最も一般的なものは、乱用されることが多い薬物を模倣しています。マリファナ、中枢神経刺激剤、鎮静剤、オピオイドです。違法市場に出回っている危険ドラッグ、つまり「デザイナー・ドラッグ」の数は常に変化しています。

危険ドラッグが人気になったのは、麻薬の密売人や売人が、それらを「合法的な」物質だと主張できたからです。薬物使用者は、買ったばかりの危険ドラッグに何が含まれているのか、それがどのように作用するのか、またはどんな有害物質が含まれているのかを知りません。

## 短期的な影響：

幻覚や妄想、混乱や方向感覚の麻痺、精神異常、自殺願望や自殺、極度の興奮や不安、パニック発作、抑うつ、不眠、暴力行為、呼吸困難、無反応、意識の喪失、頭痛、吐き気、嘔吐、下痢、ひどい発汗、高熱、腎臓の問題、心臓発作、脳内出血。

## 長期的な影響：

腎臓機能の損傷や不全、肝臓障害、発作、脳腫瘍、脳死、震え、極度の疲労、不眠、健忘症、混乱、麻痺、持続的で深刻な不安と抑うつ、切断を必要とする壊疽、そして死。

# エクスタシー

## 通称:

- アダム
- ビーンズ
- クラリティー
- E
- ハグ
- ラブ・ピル
- ラバーズ・スピード
- モリー
- スクービー・スナック
- X
- XTC

エクスタシーは、研究所で製造される薬物です。純粋なエクスタシーはMDMAと呼ばれる化学物質ですが、製造者はしばしば、カフェインやアンフェタミン*、さらにはコカインなどの他の薬物を錠剤に加えます。エクスタシーは通常、錠剤、タブレット、カプセルの形で口から摂取されます。一度に複数を摂取することをバンピングと呼びます。エクスタシーの錠剤にはさまざまな色があり、時には漫画のような画像が描かれていることもあります。

エクスタシーには、幻覚作用と刺激作用の両方があります。刺激作用により、使用者はレイブと呼ばれる音楽イベントで長時間踊り続けることがあります。しかし、屋内や屋外のレイブで見られるような、暑くて混雑した環境でエクスタシーを使用すると、極度の脱水症状や体温の上昇を引き起こし、臓器不全や死に至ることもあります。エクスタシーとアルコールを混ぜるのは非常に危険で、命を落とすこともあります。

* アンフェタミン:中枢神経刺激剤。「スピード」と呼ばれることが多い。

## 短期的な影響：

脱力感、悪寒や発汗、筋肉の緊張、判断力の低下、抑うつ、目のかすみ、睡眠障害、激しい不安、偽りの愛情感覚、吐き気、薬物への渇望、無意識に歯を食いしばる、混乱、偏執症。†

## 長期的な影響：

長期間使用すると、脳に長期的または永続的な損傷を引き起こし、判断力や明確に考える能力に影響を与えます。慢性的な使用は、うつや自殺願望を引き起こす可能性があります。エクスタシーは依存性があります。

「エクスタシーのせいで頭がおかしくなった。ある日、リンゴをかじるような感じでガラスのコップにかじりついたことがあった。口の中がガラスの破片でいっぱいになった時、やっと自分が何をしているのかに気付いた。別の時に、私は1時間、布を食いちぎっていた。」
—アン



† 偏執症：証拠や正当な理由もなく、他人に対する極度で不合理な不信感や恐れ



# コカイン&
# クラック·コカイン

コカインは粉末状の薬物で、口から摂取したり、鼻から吸引したりすることができます。薬物をより速く摂取するために、溶かして注射器で注入することもあり、それは過剰摂取のリスクを大幅に高めます。クラック・コカインは、粉末状のコカインを水や重曹、アンモニアで処理し、小さく硬い塊状にしたものです。速く、即座にハイになるために、クラック・コカインは吸引されます。

**通称:**

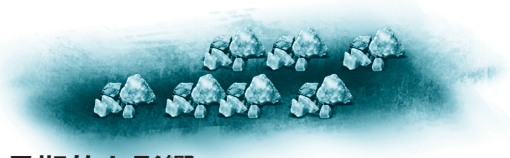
- チャーリー
- コーク
- クラック
- フレーク
- ロック
- スニフ
- スノー

コカインは、コカの木の葉から精製されます。
コカインのような興奮剤は、すぐに精神的および
身体的依存を引き起こす可能性があります。



## 短期的な影響：

**コカインは強烈な「ハイ」の状態を短時間引き起こしますが、それらはすぐにひどい憂うつ感、神経過敏、そして薬物への渇望といった状態に変わります。それを使う人は、食事や睡眠をきちんと取らないことがよくあります。心拍数が非常に速くなったり、筋肉のけいれんや発作を起こしたりするかもしれません。その薬物は、人がハイになっていない時でも、被害妄想や怒り、敵意、不安を感じさせることがあります。**



## 長期的な影響：

**長期間使用すると、コカインは、イライラ、情緒の問題、落ち着きのなさ、偏執病、聴覚幻覚を引き起こす可能性があります。人は薬物に対して耐性を持つようになり、ハイになるためにより多くの量が必要になります。慢性的な使用は、神経の損傷、脳卒中、筋肉の崩壊も引き起こす可能性があります。**

**コカインの効果が切れると、ひどい憂うつ感を引き起こします。これは、使用するたびに悪化します。この憂うつ感は、薬物を手に入れるためには何でも — 殺人さえ犯しかねない、というところまでひどくなることがあります。もしコカインを手に入れることができなければ、うつ状態は非常に激しくなり、依存者を自殺に追い込むことさえあります。**



# 覚せい剤

結晶状覚せい剤とメタンフェタミンは、鼻から吸ったり、飲み込んだり、吸ったり、注射したりして使用できます。粉末や錠剤の形で、またはとがった結晶として売られているかもしれません。

結晶状覚せい剤は、ガラスの小片や光沢のある青白い石のように見えるメタンフェタミンの一種です。これは非常に強力で依存性のある人工の興奮剤で、攻撃性や暴力的、精神病的な行動を引き起こします。多くの使用者が、初めての使用で依存症になったと報告しています。これは克服するのが最も難しい依存症の1つです。

## 通称：

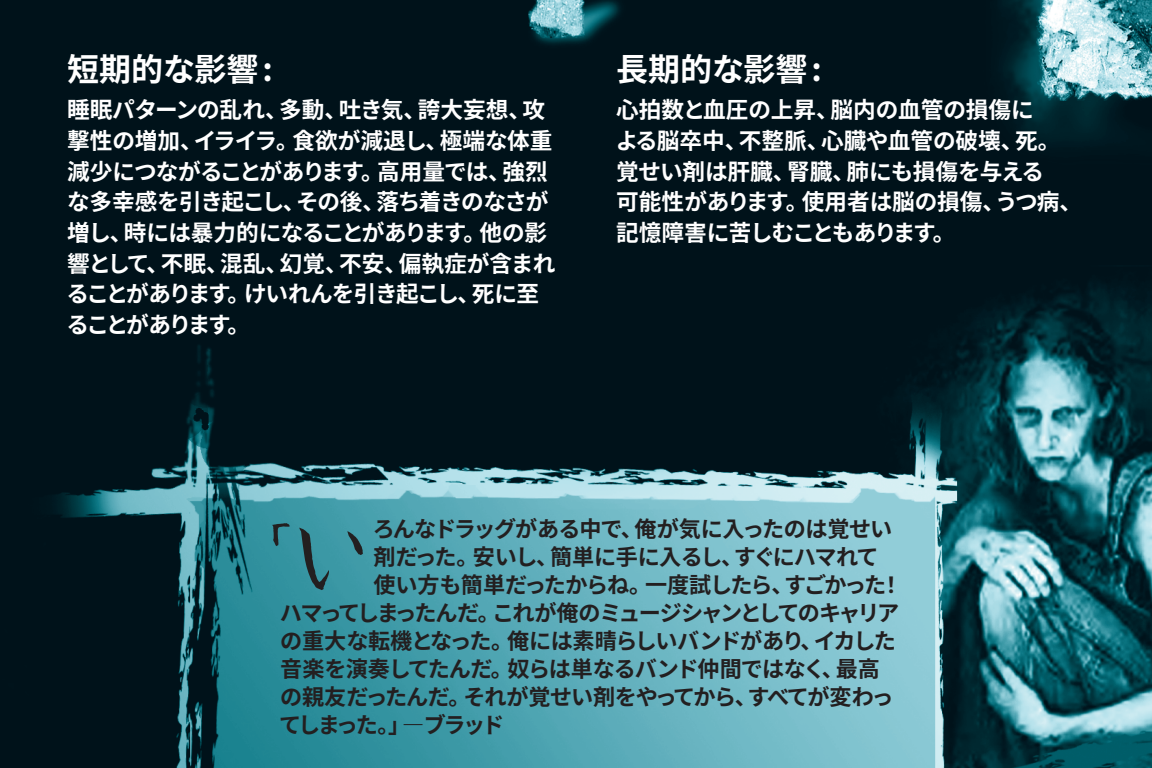
- クランク
- クリスタル
- グラス
- ゴーファスト
- アイス
- クォーツ
- スピード
- ティナ
- ツイーク

## 短期的な影響：

睡眠パターンの乱れ、多動、吐き気、誇大妄想、攻撃性の増加、イライラ。食欲が減退し、極端な体重減少につながることがあります。高用量では、強烈な多幸感を引き起こし、その後、落ち着きのなさが増し、時には暴力的になることがあります。他の影響として、不眠、混乱、幻覚、不安、偏執症が含まれることがあります。けいれんを引き起こし、死に至ることがあります。

## 長期的な影響：

心拍数と血圧の上昇、脳内の血管の損傷による脳卒中、不整脈、心臓や血管の破壊、死。覚せい剤は肝臓、腎臓、肺にも損傷を与える可能性があります。使用者は脳の損傷、うつ病、記憶障害に苦しむこともあります。



「いろんなドラッグがある中で、俺が気に入ったのは覚せい剤だった。安いし、簡単に手に入るし、すぐにハマれて使い方も簡単だったからね。一度試したら、すごかった！ハマってしまったんだ。これが俺のミュージシャンとしてのキャリアの重大な転機となった。俺には素晴らしいバンドがあり、イカした音楽を演奏してたんだ。奴らは単なるバンド仲間ではなく、最高の親友だったんだ。それが覚せい剤をやってから、すべてが変わってしまった。」—ブラッド

# 有機溶剤/吸引ガス

## 通称:

- 笑気ガス
- ポッパーズ
- ラッシュ
- スナッパーズ
- ホイペット

有機溶剤/吸引ガスは、エアゾールスプレー、洗浄液、接着剤、塗料、塗料用シンナー、マーカー、除光液、亜硝酸アミル*、ライター用燃料などの製品に含まれる一般的な化学物質です。それらは嗅いだり、吸い込んだりします(ハフィングと呼ばれます)。これらの化学物質は、ほとんどの家庭やオフィス、ホームセンターに何百種類もあります。

有機溶剤/吸引ガスは脳に深刻な影響を与えます。これらの気体を鼻や口から吸い込むと、身体やマインドに一生残るダメージを受けることがあります。

化学物質は肺の中で酸素の代わりとなり、酸素欠乏や窒息を引き起こします。これにより、心拍数が上がり、不規則になり、突然の心不全を引き起こす可能性があります。



* 亜硝酸アミル:血管を広げるために医療で使用される淡黄色の化学物質で、一部の染料や爆薬の製造にも使用される。時に中枢神経刺激剤として乱用

有機溶剤/吸引ガスを使用する人は、嗅覚を失ったり、吐き気や鼻血に苦しんだり、肝臓、肺、腎臓に問題を抱えるようになったりすることがあります。使用を続けると、筋肉量、筋肉の張り、筋力が低下する可能性があります。有機溶剤/吸引ガスを乱用する人は、普通に歩いたり、話したり、考えたりすることができなくなることがあります。吸入剤の使用に依存するようになる人もいます。

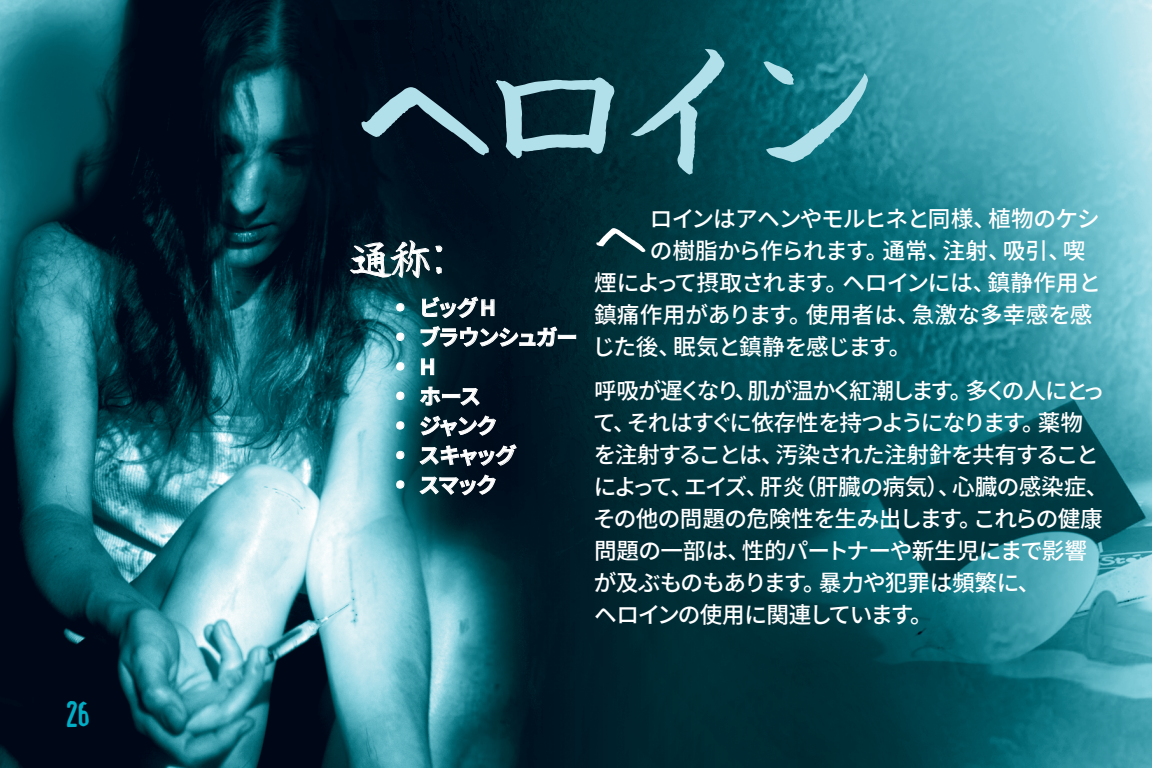
## 短期的な影響：

**混乱、ろれつが回らない、協調性の欠如、めまい、陶酔感。使用者は眠気やふらつきを感じ、頭痛、幻覚、妄想を経験するかもしれません。有機溶剤/吸引ガスを使用している人は、突然、極度の暴力を振るうこともあります。**

## 長期的な影響：

**肝臓、骨髄、腎臓の損傷、神経の損傷による筋肉のけいれん、筋肉の消耗、筋肉の正常な張りや力の低下。脳の永続的な損傷は、思考、視覚、聴覚、運動能力に支障をきたす可能性があります。**





# ヘロイン

## 通称:

- ビッグH
- ブラウンシュガー
- H
- ホース
- ジャンク
- スキャッグ
- スマック

ヘロインはアヘンやモルヒネと同様、植物のケシの樹脂から作られます。通常、注射、吸引、喫煙によって摂取されます。ヘロインには、鎮静作用と鎮痛作用があります。使用者は、急激な多幸感を感じた後、眠気と鎮静を感じます。

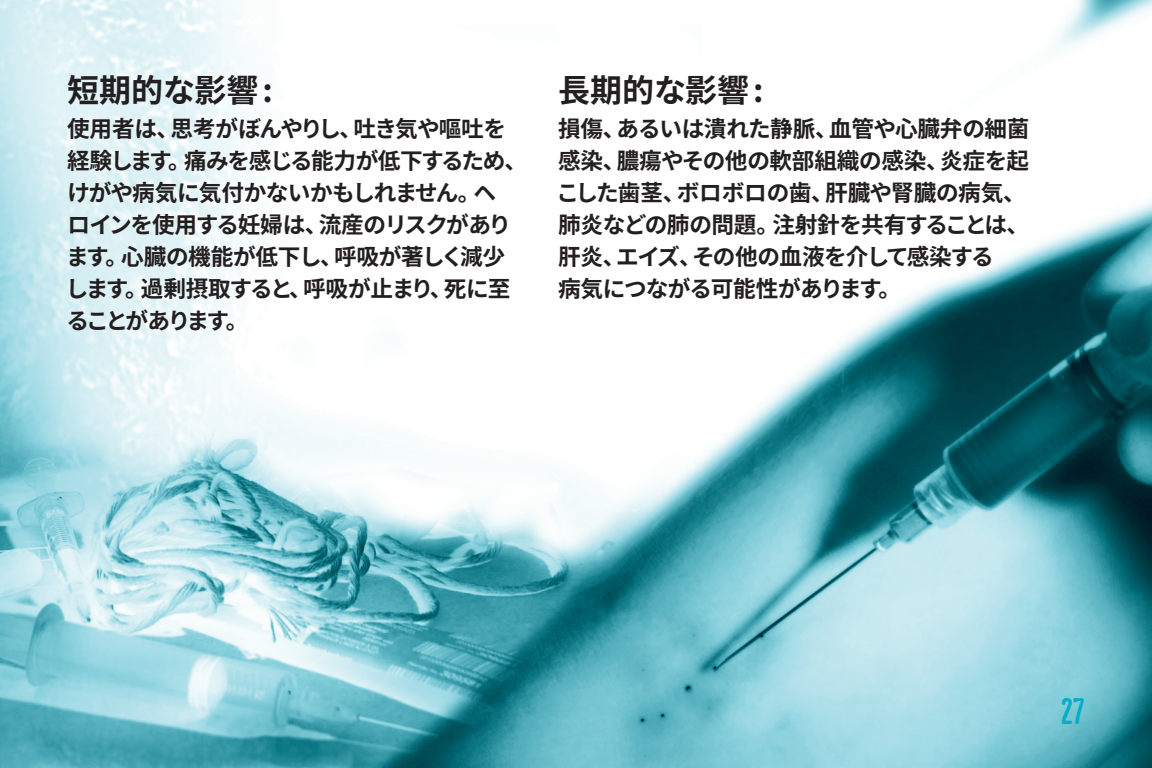
呼吸が遅くなり、肌が温かく紅潮します。多くの人にとって、それはすぐに依存性を持つようになります。薬物を注射することは、汚染された注射針を共有することによって、エイズ、肝炎（肝臓の病気）、心臓の感染症、その他の問題の危険性を生み出します。これらの健康問題の一部は、性的パートナーや新生児にまで影響が及ぶものもあります。暴力や犯罪は頻繁に、ヘロインの使用に関連しています。

## 短期的な影響：

使用者は、思考がぼんやりし、吐き気や嘔吐を経験します。痛みを感じる能力が低下するため、けがや病気に気付かないかもしれません。ヘロインを使用する妊婦は、流産のリスクがあります。心臓の機能が低下し、呼吸が著しく減少します。過剰摂取すると、呼吸が止まり、死に至ることがあります。

## 長期的な影響：

損傷、あるいは潰れた静脈、血管や心臓弁の細菌感染、膿瘍やその他の軟部組織の感染、炎症を起こした歯茎、ボロボロの歯、肝臓や腎臓の病気、肺炎などの肺の問題。注射針を共有することは、肝炎、エイズ、その他の血液を介して感染する病気につながる可能性があります。



# LSD

通称:

- アシッド
- ブロッター
- カリフォルニア・サンシャイン
- シッド
- ヘブンリー・ブルー
- マイクロドット
- パープル・ハート
- タブ

LSDは錠剤、カプセルまたは液体状で売られています。また、吸収性のある紙に染み込ませて、ブロッターと呼ばれる小さな装飾された正方形に分けることもよくあります。

LSDは、最も強力な気分を変える化学物質の1つです。それは最も強力な幻覚剤のひとつであり、ライ麦やその他の穀物に寄生する極めて毒性の強い菌から作られます。LSDの使用者は、薬物の効果をトリップと呼びます。LSDのトリップは予測不可能で、12時間以上続く深刻な精神的影響を引き起こす可能性があります。

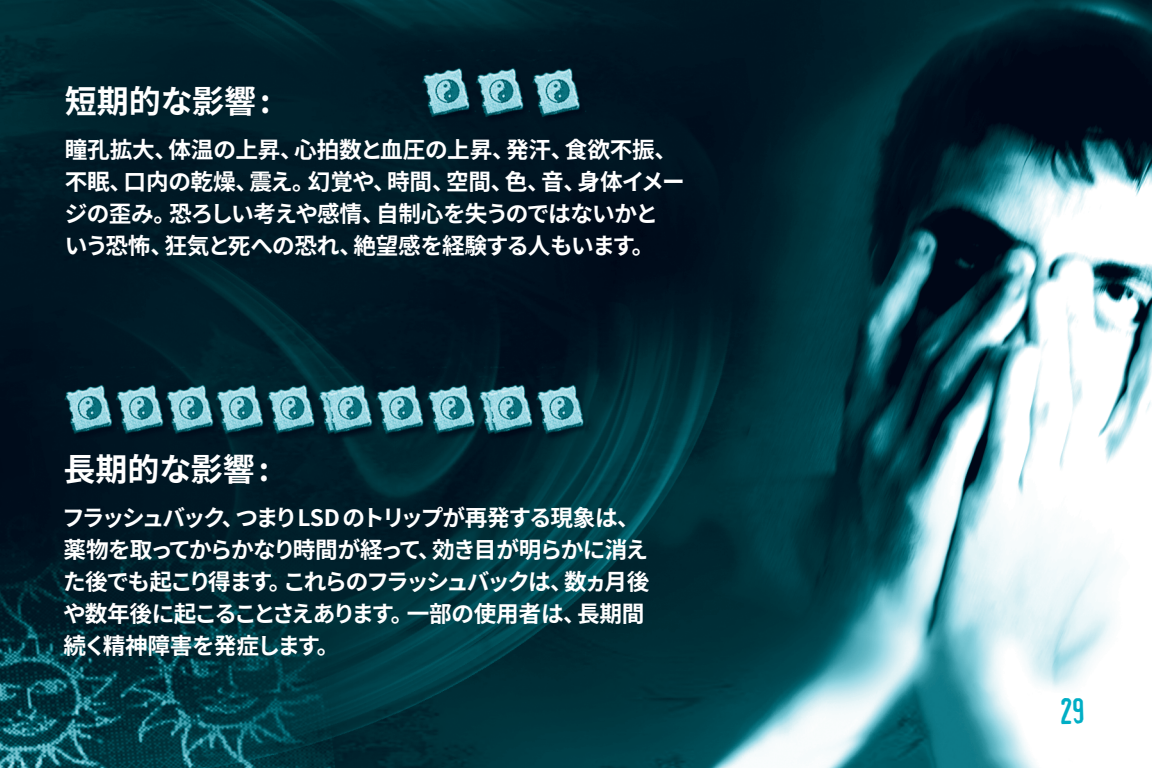


## 短期的な影響：

瞳孔拡大、体温の上昇、心拍数と血圧の上昇、発汗、食欲不振、不眠、口内の乾燥、震え。幻覚や、時間、空間、色、音、身体イメージの歪み。恐ろしい考えや感情、自制心を失うのではないかという恐怖、狂気と死への恐れ、絶望感を経験する人もいます。

## 長期的な影響：

フラッシュバック、つまりLSDのトリップが再発する現象は、薬物を取ってからかなり時間が経って、効き目が明らかに消えた後でも起こり得ます。これらのフラッシュバックは、数ヵ月後や数年後に起こることさえあります。一部の使用者は、長期間続く精神障害を発症します。



# 処方薬乱用

鎮痛剤、鎮静剤、抗うつ剤、睡眠剤、興奮剤といった医薬品は、医師が処方するため「安全」であるように見えるかもしれませんが、実際にはその常習性や危険性は、ストリート・ドラッグと変わらないほどです。例えばオキシコンチンという鎮痛剤は、ヘロインと同じくらい強力で、身体への影響の仕方も同じです。鎮痛剤、鎮静剤（「ダウナー」）、中枢神経刺激剤（「アッパー」）、抗うつ薬などを使用し続けると依存症になる可能性があり、使用を止めようとすると非常につらい禁断症状に苦しむことになります。

どんなに本物に見えても、違法に売られている錠剤は、麻薬密売人が致死量のフェンタニルを加えて製造している可能性があることを認識することが重要です。1年間で、フェンタニルが混入された8,000万錠以上の偽造薬が米国で押収されました。これらの薬の10錠中7錠に、人を死に至らしめるのに十分な量のフェンタニルが含まれていました。これらの薬の影響の一部を示します。

**鎮痛剤：**オキシコンチン、フェンタニル、モルヒネ、ペルコダン、デメロールなどが代表的なものです。引き起こされる作用には、呼吸の低下、吐き気、意識の喪失などがあります。乱用すると依存症になる可能性があります。

**鎮静剤・安定剤：**ザナックス、ジプレキサ、ベイリウムなどがあります。こうした薬物は脳や神経系の働きを鈍らせます。心臓の障害、体重の減少、倦怠感*、ろれつが回らなくなるといった作用が起こる可能性があります。使用し続けると依存症になる可能性があります。

**中枢神経刺激剤：**メタンフェタミンやコカインと似た作用があり、心拍数が上昇したり呼吸が速まったりします。例としては、リタリン、アデロール、コンサータといった「勉強薬」、そしてベニーズとして知られる薬物があります。影響は、血圧や心拍数の上昇、攻撃性や偏執症が含まれます。

**抗うつ薬：**一般的な例として、プロザック、パキシル、ゾロフト、セレクサがあります。影響には、不整脈、被害妄想的な反応、暴力衝動または自殺思考、幻覚が含まれることがあります。長期使用は、依存につながる可能性があります。

* 倦怠感：身体的・心理的な疲労感やだるさ

# 薬物の売人がよく使う誘い文句

十代の若者へのアンケートによると、薬物に手を出すようになったそもそもの理由として、55パーセントが「周りの雰囲気に流された」と回答しています。彼らには「ダサい」と思われたくない、「カッコよく見られたい」、という願望があります。薬物の売人はそのことをよく承知しています。

売人たちは、友だちのような顔をして近付き、親切を装って「いい気分になれるもの」を教えてあげると持ち掛けてきます。その薬物を使うと「周囲から浮いてると思われなくなる」とか「仲間の中で目立てる」というのです。

薬物の売人はお金だけが目当てです。薬物を買ってもらうためなら、どんな嘘でも言います。

彼らは「コカインはあなたの人生をパーティーにする」とか、「ヘロインは温かい毛布のようなものだ」と言うでしょう。エクスタシーを摂取すれば、「たくさんの女の子と一緒にいられる」と言うでしょう。

売人は「お客さん」が払うお金にしか関心がありません。薬物のせいでその人の人生が台無しになっても気にしません。かつての売人たちは、薬物を買う人を「いいカモ」としか見ていなかったと証言しています。

薬物についての真実を知ってください。そうすれば自分自身で正しく判断できるはずです。

**この小冊子を含む薬物防止教育小冊子のシリーズは、これまでに20以上の言語で出版され、世界中で何百万部も配布されてきました。**

新しい薬物が次々と世の中に出回っており、その影響に関する新たな情報が知られるようになっています。本シリーズはそうした新しい情報を盛り込んだ最新版です。

これらの小冊子シリーズは、カリフォルニア州ロサンゼルスを拠点とする非営利の公益法人「薬物のない世界のための財団」によって出版されています。

財団は、その国際防止ネットワークを通して各種教育資料や助言を提供したり、調整を行ったりしています。また、青少年や保護者、教育者やボランティア団体、政府機関ばかりではなく、薬物乱用のない人生を送ることに関心のある人なら誰とでも協力しています。

**参照文献：**

この小冊子をまとめるのに使われた参照文献：jp.DrugFreeWorld.org/refs

写真：8ページ：Alamy（左）; 13ページ：istockphoto.com、Lisa Young; 26ページ：Luke Peters

# 知っておくべき真実

この小冊子を含む薬物防止教育小冊子のシリーズには、マリファナ、アルコール乱用、フェンタニル、危険ドラッグ、エクスタシー、コカイン、クラック・コカイン、覚せい剤、有機溶剤 / 吸入ガス、ヘロイン、LSD、処方薬乱用についての正確な情報がまとめられており、読者が自分の意志で薬物のない人生を送ることができるように役立つ内容になっています。

**無料オンライン・コースを行う、または地域の薬物のない世界支部とつながるには、jp.DrugFreeWorld.org にアクセスしてください**


**薬物のない世界のための財団**

jp.DrugFreeWorld.org • info@drugfreeworld.org

1 (888) 668-6378 • 1 (818) 952-5260


**この小冊子をダウンロードするには ここをスキャン**


© 2025年 Foundation for a Drug-Free World. 不許複製。Truth About Drugsおよび薬物のない世界のための財団のロゴは Foundation for a Drug-Free Worldが所有しており、使用にあたってはその許可が必要です。#S001562 - Japanese